富士市立神戸小学校

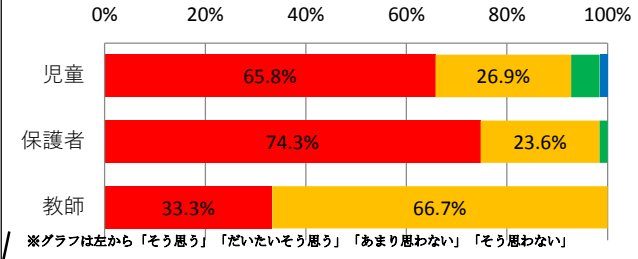
学校便り 神戸っ子

平成30年９月26日

9月号その2 前期学校評価報告

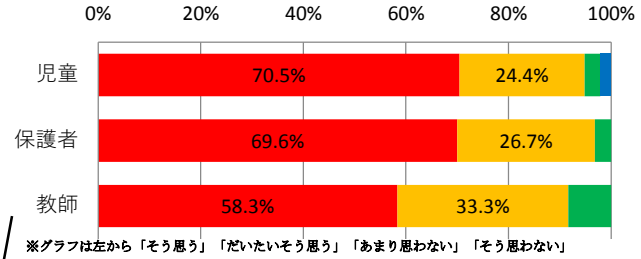
学校教育目標　「つながろう　やりぬこう」
重点目標　「すすんで　やる子」

学校生活が楽しい。



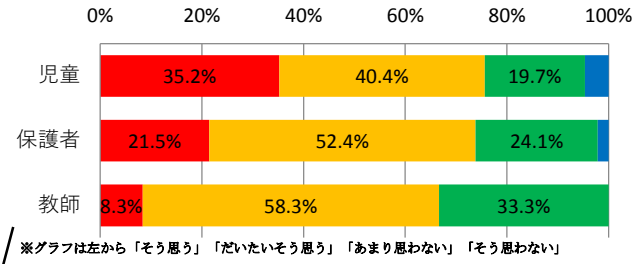
子どもの肯定評価の割合がやや低いので、まずはその原因として最も考えられる「友達との人間関係改善」を課題として取り組んでいきたいと思います。

みんなで何かをするのが楽しい。



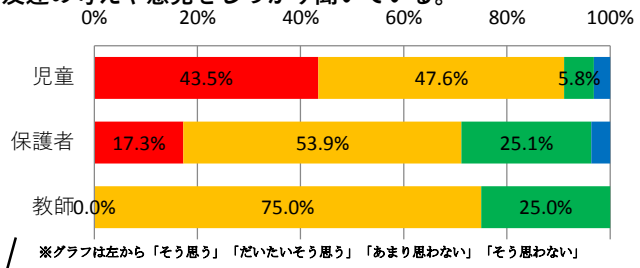
他人と協同作業を進める上で、トラブルはつきものだと思います。それをどう乗り越え、解決していくかを指導助言していくことで、やり遂げた達成感を味わえるようにしたいと思います。

自分の考えや意見をよく発表している。



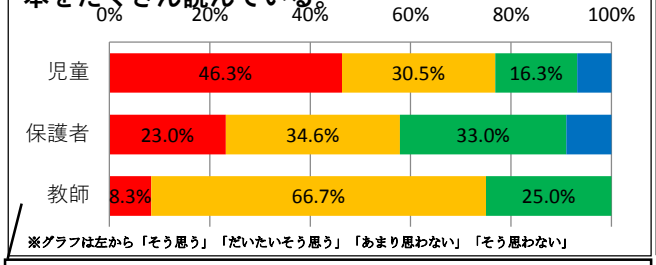
「教室はまちがうところだ」をもう一度意識させ、日頃から何でも言える、何でも聞いてもらえるようなクラスの雰囲気づくりを大事にしていきたいと思います。

友達の考えや意見をしっかり聞いている。



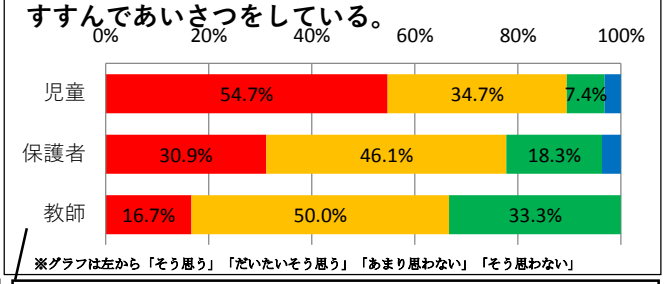
「聞く」ことが「聴く」ことになるような指導が必要だと考えます。そこで、友達の発言に対して温かな反応をしながら聞く姿勢を今後も推奨してきたいと思います。

本をたくさん読んでいる。



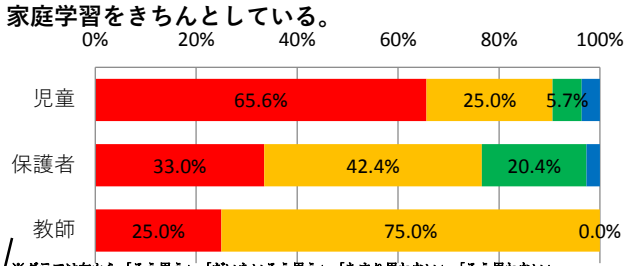
朝読書の時間が少なくなったため、読書への意識がやや薄れてしまったのではないかと危惧しています。読みたい本が手元にあり、ちょっとした隙間時間に本が読めるような習慣づけをしていきたいと思います。

すすんであいさつをしている。



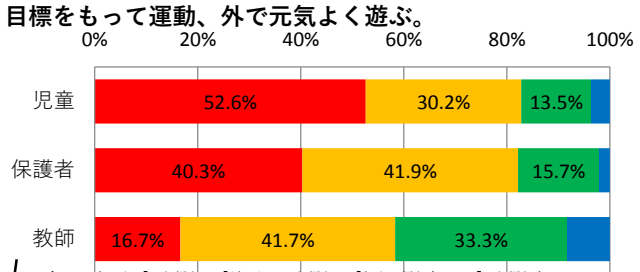
あいさつに対する達成感は個々に違いがあるようです。そこで、どのような場で、だれに、どんなあいさつができればよいかという共通の認識をもたせられるような指導を考えていきたいと思います。

家庭学習をきちんとしている。



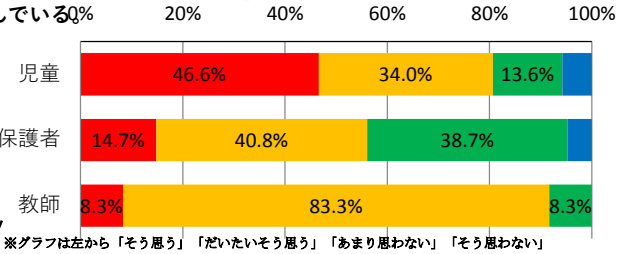
家庭学習が受動的なものではなく、能動的なものであるという意識改革ができるような働き掛けをしていくことで、子どもたちの意識は高まると考えています。

目標をもって運動、外で元気よく遊ぶ。



8:00前の自主トレ時間が確保しにくい中でも、朝の支度を素早く済ませて運動場に出ている子どもたちがいます。お互いに誘い合って運動できるような声かけができるように支援していきたいと思います。

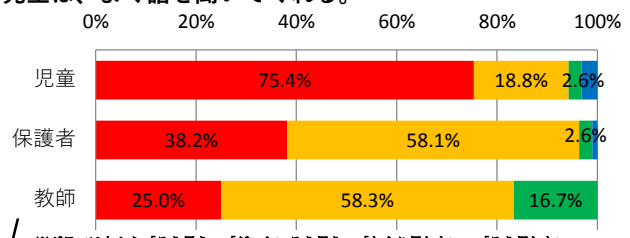
「つながろう　やりぬこう」に向けて何かに取り組んでいる。



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

集会や朝礼の度に校長が学校教育目標を確認する機会を設けて来ました。目標達成状況はまだまだ十分とは言えませんが、子どもたちの意識の中にはこの目標があると言えます。実践できる場を増やしていきたいと思います。

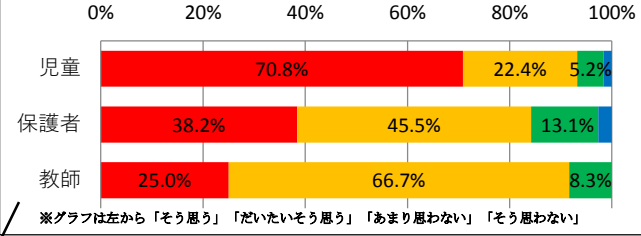
先生は、よく話を聞いてくれる。



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

「そう思わない。」と回答している子については、日頃から傾聴の姿勢で寄り添ってきたつもりでしたが、まだまだ不十分であることがわかりました。今後も意識して対応していきたいと思います。

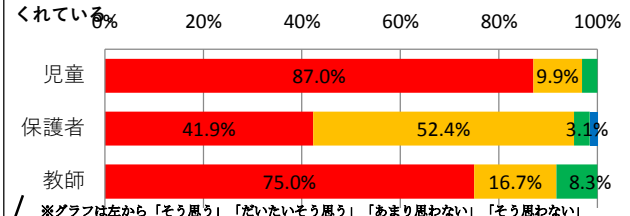
先生は、自分ががんばったことをよくほめてくれる。



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

帰りの会で、友達同士でがんばったことを認め合う時間を設定しているクラスがあります。教師からも一言付け加えることで、子どもたちの誉められた実感につながり、自己肯定感の向上につながると考えています。

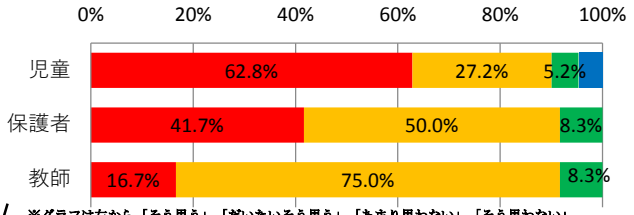
先生は、学校にいるとき安全にすごせるように気をつけてくれている。



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

夏休み前に全国各地起きた事件や事故について、本校でも原因や対策を考え、子どもが安心・安全に学べるように危険箇所の調査や防犯訓練等を行ってきました。ただし、学校だけでは限界があるため、今後も保護者、地域の皆様にご協力を呼び掛けていきます。

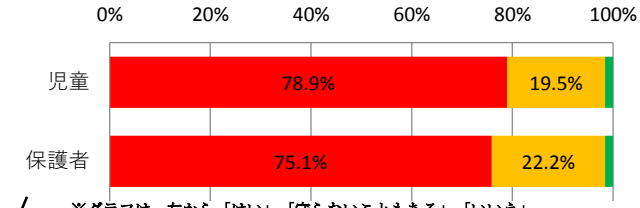
授業は楽しくわかりやすい。



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

教科によっては得意、不得意があり楽しさを味わえないものがあると思いますが、少しでも「わかった」「できた」という時間を味わうことにより、「楽しい」気持ちになれると思います。今後も個の実態に応じた指導を心がけます。

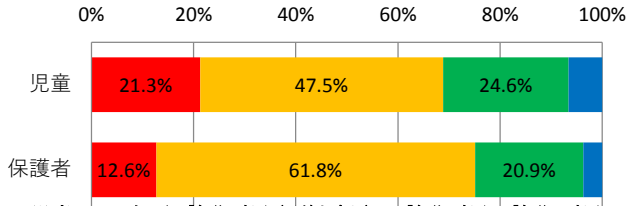
学校のきまりをきちんと守っていますか。



※グラフは、左から「はい」「守らないこともある」「いいえ」

4月に配布した「神戸っ子の生活」（教室にも掲示）に書かれているきまりや約束を再確認し、規範意識を育て、集団生活の中で上手に適応できるように指導していきます。

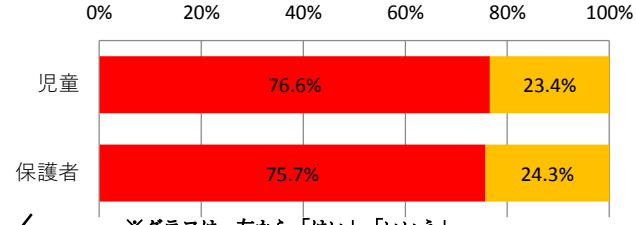
毎日、何時頃寝ていますか。



※グラフは、左から「午後8時頃（以前も含む）」「午後9時頃」「午後10時頃」「午後11頃」

就寝時刻に対する児童の意識と保護者の把握とでややズレがあるように感じられます。早寝の習慣や実態についてお子さんともう一度ご家庭で話し合っていただくことをお勧めしたいと思います。

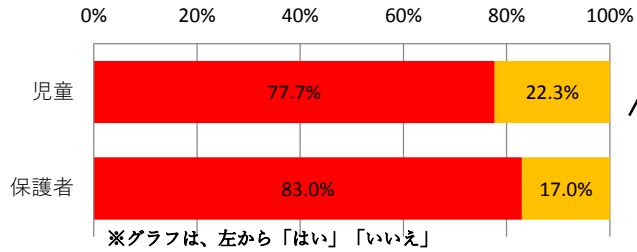
朝食は、しっかり食べていますか。



※グラフは、左から「はい」「いいえ」

「いいえ」の回答には、「バランスよく食べていない」「少ししか食べていない」「ほとんど食べていない」が含まれると思います。また、早起きとも関連するため、生活習慣を見直す資料として生かしたいと思います。

学校や友だちの話を家でよくしますか。



※グラフは、左から「はい」「いいえ」

嬉しかったこと、楽しかったことは比較的自分から話すことができると思いますが、つらかったこと、悲しかったことなどは、親に心配をかけさせたくないという思いから、なかなか言えないのではと思います。子どもの表情や行動に敏感になり、毎日「今日は学校でどうだった？」とごく自然に聞けるご家庭の雰囲気を大切にしていただきたいと思います。

➢ 子どもたちがよりよく伸びていくための意見・提案（保護者より）

①学習に関する内容

✎ **子ども一人一人、みんな性格やよいところが違うので、同じような子を育てるのではなく、その子それぞれに合った指導をお願いしたい。**

✎ **授業のすすめ方がとてもゆっくりと感じるが、大丈夫なのか。**

✎ **小１からディスカッション等、自分の意見を伝える練習をしていく、考えをまとめて話す1分間スピーチ等を取り入れていくのもよいかと思う。**

✍ 子ども一人一人の個性を生かし、その子のよさを伸ばすことで子どもたちはさらに生き生きと学んでいくはずだと思います。それをしっかりと念頭に置いて指導を継続していきたいと思います。ただし、学習の基礎基本の定着という段階においては、全員が同じように身に付けてほしいものもあるため、そこを見極めながら指導していきます。

✍ 授業の進め方については、年間指導計画に沿って指導を行っています。子どもたちの実態に応じて授業を進めているため、時には時間を十分かけて指導を行う必要があり授業が遅れ気味になることもありますが、短時間で進められる単元により時間を調整をしながら授業を進めています。

✍ 新学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」に向けて、友達同士の対話的な学びも課題として取り組んでいます。そのため1年生では「サクランボ発表」というペアでの相談後に二人で手をつなぎながら手を挙げて、交互に発表するという工夫も行っています。他学年でもそれぞれの発達段階に応じた友達同士の対話的な学びを工夫し、自分の考えを伝える機会を増やしていきたいと思います。

②生活指導に関する内容

✎ **友達に嫌なことをしている子がいるという情報を子どもから聞くことがある。我が子が加害者側であれば厳しく注意してほしい。当事者との話だけでなく、このような事柄は家庭でのしつけ、言い聞かせが大切だと思う。学校からこんな事案があって、このような対応をしているというような全体への情報共有をしていただければと思う。**

✎ **友達とのトラブルは避けられないものだと捉えている。問題解決の方法やまわりとの関わり方を学ぶために、「何が（誰が）どうした（何した）から、どうなった（どんな気持ちだった）」をきちんと伝えられるように声かけをしてほしい。どうしても自分に都合よく話してしまう（嘘をつく）と、何がトラブルの元になったか把握できないので、大人が叱るために話をさせるのではなく、相手に自分の気持ちを言葉で伝えられるようになるために話をさせてほしい。**

✎ **学校へ持っていくものが多いのに、神戸小では対策を考えていないように思う。子どもに配慮したサービスを行ってほしい。学校が保守的で子どものことを考えていないと思うことがある。**

✍ 小さなトラブルでも、すぐに事実を確かめ何が問題であったか明らかにし、その日のうちに関係の保護者にも知らせるように努めております。子どもからの訴え（目撃報告も含む）、保護者からの訴えに対して、即対応していくことを基本方針としていますが、教員の目が行き届かないところでのトラブルもあったと思います。特別支援教育サポート員、生徒指導アドバイザーの力も借りながら、できるだけ複数で子どもたちのトラブルに関わっていきたいと思います。また、必要に応じて全体への情報共有も行っていきたいと思います。

✍ 友達とのトラブルにおける対応については、ご指摘の通り「自分の気持ちを伝えられる」聞き取りと、「相手の気持ちを考える」ような指導を継続していきたいと思います。また、コミュニケーション力の向上が求められる昨今でもあるため、日頃の授業や特別活動を通して、自分の気持ちをしっかり伝えると同時に、相手の気持ちもしっかり聞けるような力を育てていきたいと思います。

✍ 持ち物の量については学年ごとに差があるため、各担任の判断により子どもの過負担とならないような配慮を検討していきたいと思います。

③学校行事・特別活動に関する内容

- ✎ **運動会のとき、子どもたちの応援席にテントを張ってほしいと思う。毎年、やけどのように真っ赤になりかわいそう。**
- ✎ **運動会のときに、写真を撮る人が必ずいるにもかかわらず、写真を撮る場所もないほどグラウンドの周囲に人がいるため、１mほど離れて席を確保するか、写真を撮る場所を確保してほしい。**
- ✎ **交流会のときに、吉永第二小とリレーでもなんでもよいので競わせてほしい。団結し、クラスがよくなると思う。**

- ✎ 今年度から運動会の日焼け対策として、日焼け止めの使用を推奨しました。応援席のテントについても検討はしましたが、テントの数、準備と片付けに関わる人の手不足から断念せざるを得ませんでした。来年度も同様に実施していく予定ではありますが、何かよい方法がありましたらご提案をお願いします。
- ✎ 運動会の写真撮影場所については、競技や演技の性格上、撮影場所を固定することは難しいのではないかと思います。本部席近くに人が集中してしまうことが気になりますので、ゴールの位置を応援席側にする種目を設けたり、演技の体形を四方八方から見られるようにしたりするなど、何らかの工夫を検討してみたいと思います。
- ✎ 毎年、交流会ではリレーや長縄など、互いに競い合えるような内容を行っています。今年度も同様に行っていく予定です。子どもたちへの励ましの声かけをよろしくお願いします。

④その他の内容

- ✎ **子どもの話から学校生活を楽しんでいることが伝わる。**
- ✎ **学校での様子を教えてくださるので安心している。**
- ✎ **お便りや学習カードで、先生から様子を知らせていただき一人一人のことをしっかり見つめ温かく見守っていただいていることに感謝している。**
- ✎ **担任の先生だけでなく校長先生をはじめ、先生方みんなで児童一人一人を気にかけてくださり感謝している。また、地域との交流の場もあり、子どもがなかなかできない経験をさせていただき、いつも楽しく体験させていただいている。ありがたい。**
- ✎ **小学校生活最後の1年間を仲間と力を合わせて楽しくすごしていけるように子どもたちの声を聞きながら生活できればよいと思う。**

- ✎ 教員が学校での様子を積極的に伝えていくことによって、保護者の皆様も安心して見守っていただける様子を感じることができました。今後も一人一人に目を配り、その子に合った適切な声かけをしていく中で、子どもたちの可能性をより伸ばしていきたいと思います。また学校での様子もできるだけ発信していけるように努力していきたいと思います。保護者の皆様にもご協力を願う場面も出てくるかと思いますが、前期と同様にご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

前期学校アンケートへのご協力ありがとうございました。保護者の皆様からたくさんの建設的なご意見をいただき、大変参考になりました。中には明確な回答ができず、一時預かりという形の提案もございますが、皆様の思いをしっかり心に刻み、後期以降の教育活動をさらに充実させていきたいと思います。

なお、12月にも同様のアンケート調査を行いますが、今回のアンケートと同様に、マークシート部分の回答（色塗り）を鮮明にしていただき、機械が「無回答」として読み取るものがゼロとなるようご協力願います。